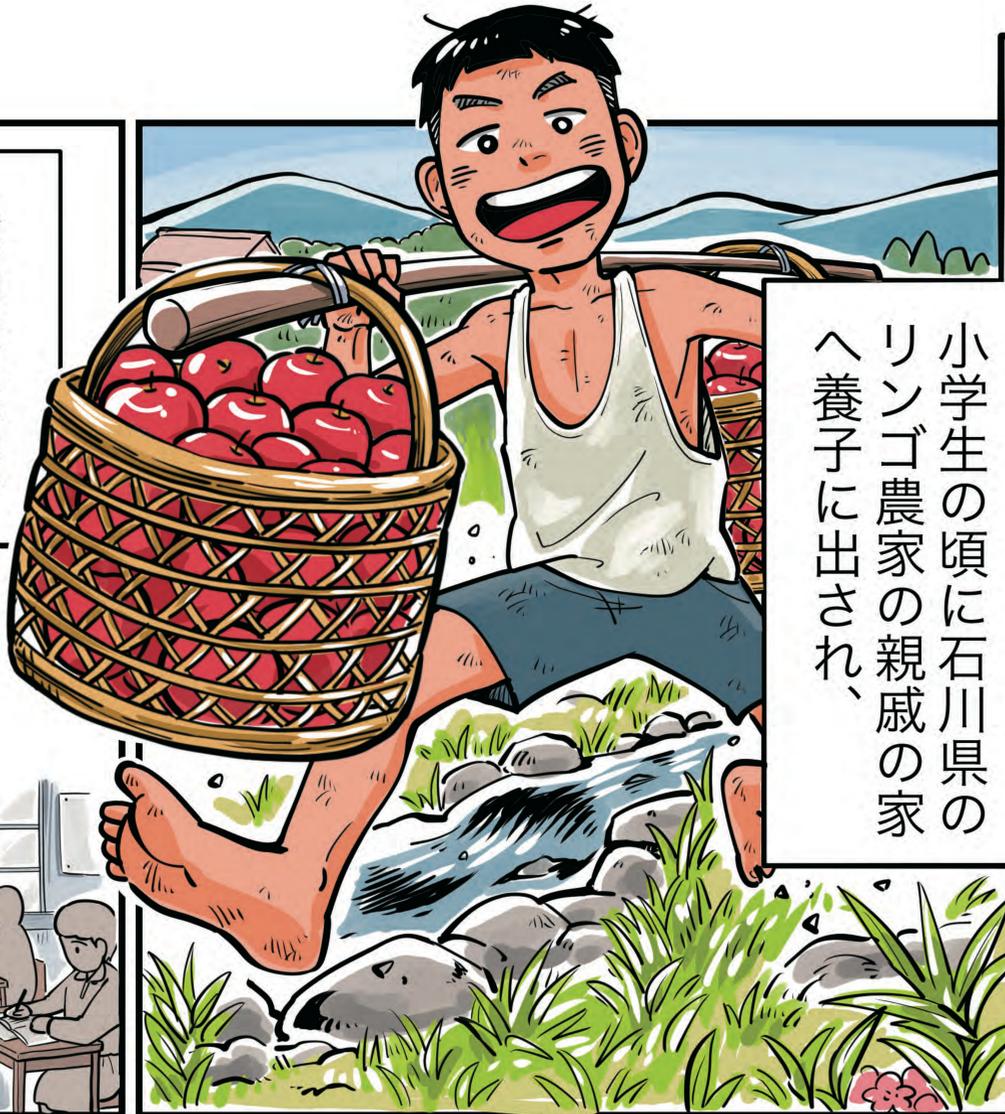


貧しい農家の
三男坊として
生まれた**馳浩**は



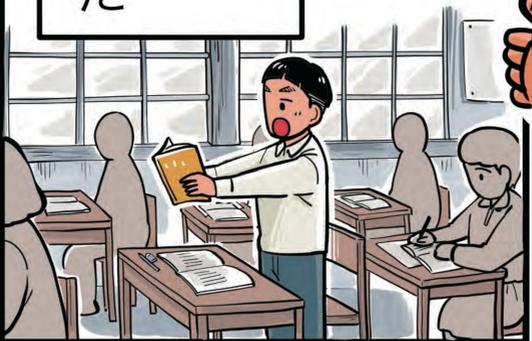
以後52年間
石川県で暮らした

小学生の頃に石川県の
リンゴ農家の親戚の家
へ養子に出され、

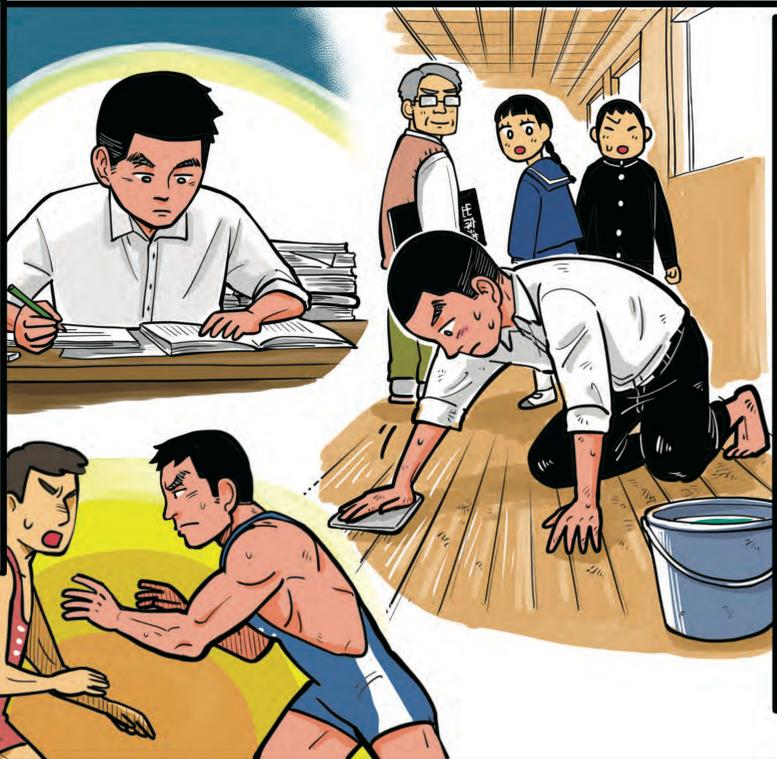


小、中、高校は
金沢の学校へ

勉強も運動も
好きな、明るく
元気な少年だった



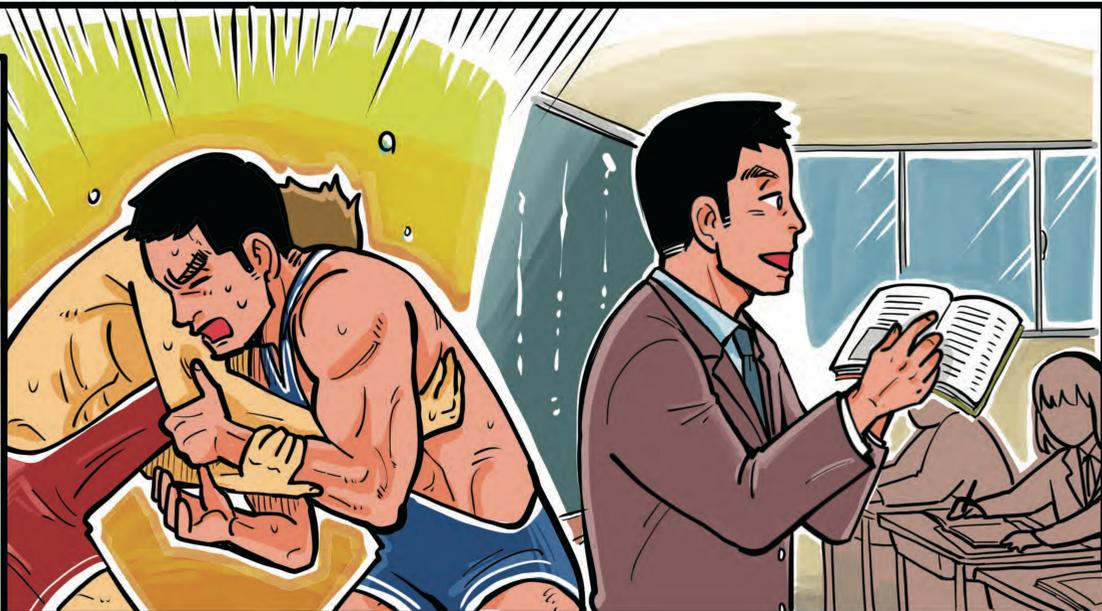
中学時代は生徒会長になり
毎朝一番に学校に来て
廊下の雑巾がけをした



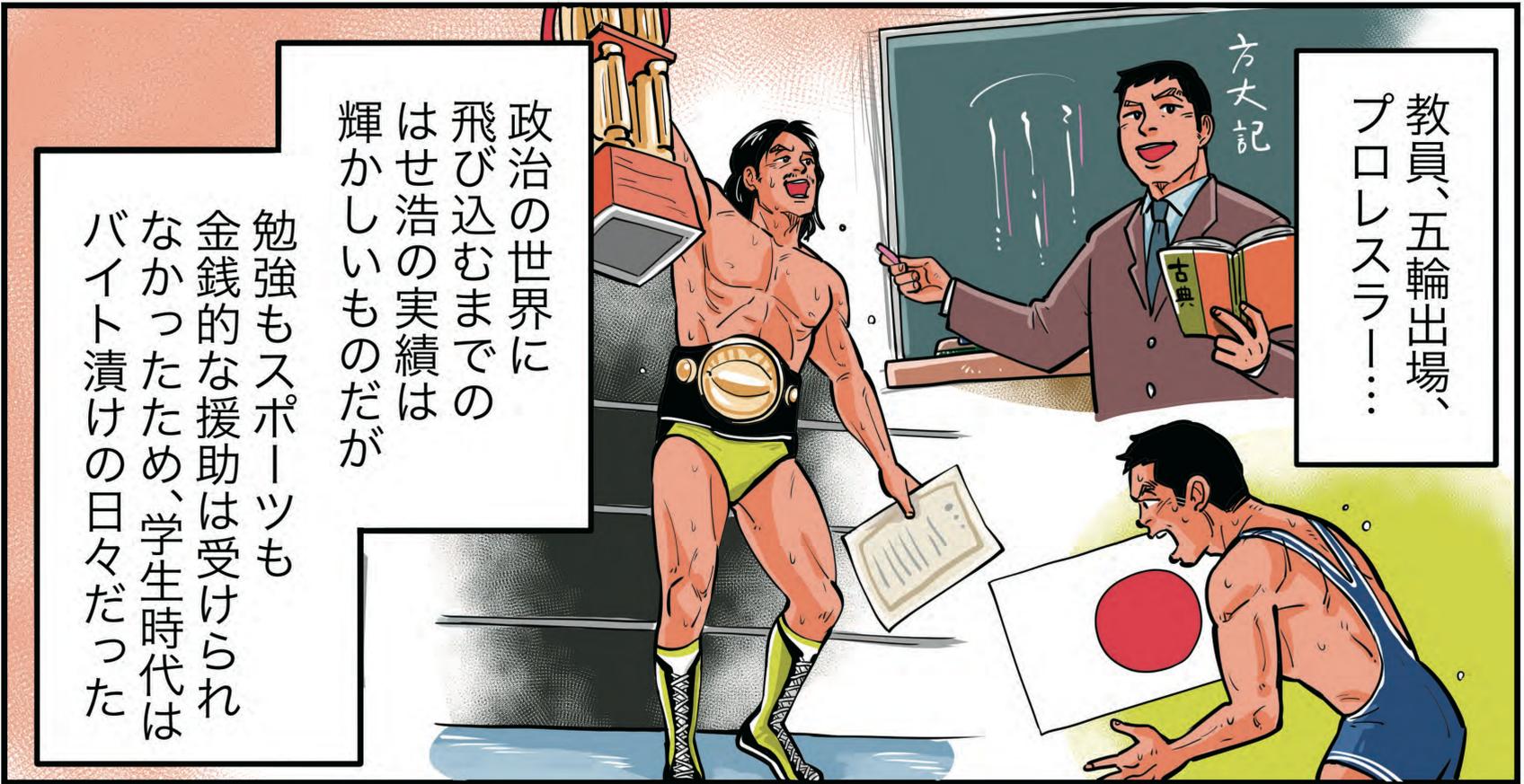
高校は**星稜高校**で
文武に励み、
校内模試一位
レスリング国体優勝

専修大学進学後は
国文学の研究をしながら
レスリング学生チャン
ピオンになった

大学卒業後は
母校、星稜高校で
国語教員をしながら



ロサンゼルス五輪に
レスリング日本代表
として出場した



教員、五輪出場、プロレスラー…

政治の世界に飛び込むまではせ浩の実績は輝かしいものだが

勉強もスポーツも金銭的な援助は受けられなかったため、学生時代はバイト漬けの日々だった



様々な立場の様々な職種で働く人を間近で見た経験は

今も政治家としてのはせ浩に大きな影響を与えている



生きていれば人は様々な痛みや苦しみを背負うもの
ただ、生きる力さえあれば追い詰められて自暴自棄になつたりしない
困難を困難だとも思わなくなるかもしれない

政治の役割とは誰もが「生きる力」を感じられる社会をつくることです

国会議員となったはせ浩は、
小さな声を一つひとつ聞き
ながら、それを法律や国の
予算として形にしてきた

国会議員歴
27年！

議員立法
37本成立は
歴代1位！

しかし大きな
問題に直面した

法律を作って都道府県に
制度化を義務付けても、
実現されない例が
相次いだのである

石川県をもっと良く
していくためには
法律や制度を最大限
活用すべきだ

そのためには
自分が国会議員の
立場のままでは
いけないと思った



幸い**文部科学大臣**、
自民党政調会長代理という
役職を経験したはせ浩には
国との間に太いパイプがある

「パイプ」というと
良い風に聞こえない
かもしれませんが

国政を理解できている者が
地域の問題に取り組めば、
政策の実現力は
格段に上がります

こうして
ください

国政

県政

法律

県の事情

うちの場合、こういう
やり方もいいですか？

OK



こうして、はせ浩は
県政のトップリーダーに
挑戦することを決意した

- 子育て支援
- 行政デジタル化
- 文化・スポーツ振興
- コロナ出口戦略
- 人口減対策
- 教育による人づくり

目指すは
「幸福度」日本一の
石川である



能登・加賀・金沢の
皆さんの気持ちを
一つにして、

それぞれの地域が
豊かに発展していく
石川県の未来を
切りひらいていく



石川を新時代へと
動かしていく原動力は、
県民の声と想いです

だからこそ
あなたの声を、想いを、
はせ浩にぶつけて
ください

はせ浩は、その声を
全て受け止めて、
政策や県の予算として
実現してみせます

